

ISO9001 改訂を「会社を変えるチャンス」に！

品質保証×生産部門の連携のコツと 生成 AI 活用セミナー

ISO 改訂

何が変わる？
何を準備する？



部門連携

品証と生産が
お互いを理解



生成 AI

品質・環境業務を
もっと効率的に

ISO9001 改訂は単なる規格対応ではなく、会社の仕組みや日々の業務の進め方を見直すチャンスです。
今回の改訂では、

- 品質文化・倫理的行動
- リスクと機会への対応
- 気候変動への対応
- デジタル化などの環境変化への対応

など、これからの企業活動に関わる重要なテーマが盛り込まれています。

「ISO は品質保証部門や事務局だけが対応するものになっている」

「品質保証と生産部門で考え方が合わず、うまく連携できていない」といった課題はありませんか。

品質を守り、より良い製品づくりにつなげるためには、品質保証部門と生産部門がそれぞれの役割を理解し、共通の目的に向かって協力することが欠かせません。

本セミナーでは、品質文化やリスクと機会、気候変動、デジタル化など、実務に影響する ISO9001 改訂のポイントを分かりやすく解説するとともに、品質保証部門と生産部門の相互理解を深める交流の機会を設けます。

さらに、文書作成、関連箇条の特定、内部監査の準備など、品質・環境業務における生成 AI の具体的な活用方法もご紹介します。

このような方におすすめです



- ◆ ISO 改訂を上手に対応したい経営者、管理責任者の方
- ◆ 品質保証部門と生産部門の連携を強化したい企業様
- ◆ 品質・環境業務に生成 AI を活用したい方
- ◆ 品質保証、品質管理、ISO 事務局、内部監査を担当している方
- ◆ 環境管理、環境マネジメントシステムを担当している方
- ◆ 製造、生産技術、生産管理、工場管理を担当している方

2026 年 11 月 26 日(木)14:00～16:30

参加費:5,000 円(税込)

会 場:ウインク愛知 908 号

参加特典

ー改訂チェックリスト&対応事例集
ーセミナーテキスト

Web からお申込み



プログラム

●第1部 ISO9001 改訂のポイントと実務対応

1. 規格改訂は「対応」ではなく「改善のチャンス」
2. SO9001 の主な改訂ポイント
3. 改訂を受けて自社は何を見直す？

●交流ワーク：品質保証×生産部門「相互理解から考える、品質をつくり込む連携」

品質は品証だけでは守れない、より良い品質を生み出すための部門間連携を考える

●第2部 品質・環境業務における生成 AI 活用

1. ISO 規格専用チャットボット
2. 内部監査で生成 AI を使う
3. 文章からフロー図へ
4. 生成 AI を安全に使うために

●まとめ ISO を「品証だけの仕事」から「全社で品質をつくる仕組み」へ

講師

松田 英一 株式会社活コンサルタント 代表取締役社長



河合楽器製作所を経て 1996 年(社)中部産業連盟に入職。
QC サークル支援や ISO 導入支援など。日本品質保証機構の ISO9001 審査員としても活動。
製造業や事務センターなど多くの会社に「自律的に行動しチーム力を発揮できる職場づくり」に焦点をあてて全員参加の小集団活動を導入、支援して、人材と組織育成を行い経営成果につなげるコンサルタントとして全国で活躍している。

假屋 翔太 株式会社活コンサルタント 国家資格キャリアコンサルタント



2023 年より生成 AI の可能性に着目し、現場視点での AI ツール活用を探索。200 種以上のツールを検証し、目的に応じた最適な組み合わせを提案するセミナー・研修を多数実施。
ChatGPT・Claude・Perplexity などの使い分け、業務効率化・情報収集・画像生成・動画編集・プロンプト設計・リスク対応まで幅広く解説。
最近では社内チャットボット構築支援やプロンプトのカスタマイズ設計にも取り組んでいる。

「品質保証×生産部門の相互理解と生成 AI 活用セミナー」参加申込
FAX：052-364-9261

20261126

会社名	所属（役職）	氏名
住所		
E-mail	TEL	
支払方法 ☐ 事前振込み ☐ カード決済 ☐ 当日現金払	領収書が必要な方は宛名を記入	

※ご記入いただいた情報は、活コンサルタントからの各種連絡・情報提供のため利用します。

★問合せ：活コンサルタント 神谷 TEL：052-364-9260 E-mail：kamiya@kconsulting.jp